



小学校外国語科先行実施 成果と課題

2月4日(火)に第2回外国語教育研究会が行われました。先行実施の2年間がまもなく終わります。その成果と課題について討議されました。各校の先生方と町単独雇用の英語支援教員から出された意見(アンケート形式)と研究会で出された意見をまとめました。

児童にとって・・・楽しく、質の高い授業

- ・楽しい活動を通して自然と英語で話しやすい雰囲気ができて、楽しみながら取り組んでいる。
- ・児童の興味関心が高まった。
- ・子ども同士でも英語でやりとりができるようになった。(抵抗感がなくなった)
- ・英語の発音に耳慣れしてきた。(指導者が言っていることを聞き取れるようになった)
- ・単語の読み方についてかなり身につけてきて、見ただけで発音できるようになってきている。
- ・苦手意識なく授業に参加できるようになってきているが、個人差を小さくする取組が課題である。

英語支援員が配置されたことで・・・工夫した授業・質の高い授業の実施

- ・担任は、外国語の授業の基本的な流れについて学ぶことができるとともに指導力向上になっている。
- ・デジタル教科書だけでなく、本やプリントなどの学校に常備されていない教具を使用して学習に取り組むなど授業内容を工夫してくださっているので、楽しみながら英語を学ぶことができている。
- ・3人が複数校を担当し、指導について打合せをしているので、富士河口湖町のどの小学校でも質の高い同じ実践ができている。

課題・・・評価と教員の授業力向上

- ・外国語の目標について、教員がしっかり理解し、意識していかななくてはならない。また、どのように評価するか十分検討して本格実施に入りたい。
- ・どの教員も主になって行えるように、さらに研修を進める必要がある。(ある学校では、低学年の先生が高学年の学級で授業を実施するなどして研修を進めている。)



TRIO KLAVIS CONCERT 本物に触れる

富士河口湖町音楽活性化事業
子供のための音楽プロジェクト

勝山小学校においてオーストリアの“TRIO KLAVIS”の演奏会が開かれました。この音楽活性化事業は、「通常音楽ホールでしか聴くことができない生の本物のクラシック音楽を、音楽ホールの領域から一歩出て、学校など身近な会場でミニ演奏会などを行いながら、音楽を通じて地域とふれあう交流活動として行う」ものです。当日は5、6年生が3曲の演奏を聴き、最後には6年生が卒業式で歌う「旅立ちの日に」をTRIO KLAVISの伴奏で歌いました。サクソフォンのミハ・フェルクさんのブレス音が聞こえるほどとても近い距離でしたので、生のクラシック音楽の演奏に直接触れ、音楽のすばらしさを心から楽しめる貴重な経験でした。さらに、演奏した3人も子どもたちと直接触れ合えた機会をととても喜び、子どもたちから贈られた色紙を控室で見ながら、とても感激したことを伝えてくれました。

